

「Ultrasonic Differential Diagnosis of Tumors」

Edited by George Kossoff and Morimichi Fukuda

群馬大学教授

永 井 輝 夫

現在世界の超音波医学をリードしているのはまぎれもなくわが国とオーストラリアであり、そしてこの2カ国の中心的存在が本書の編集を担当されている福田守道教授とGeorge Kossoff博士である。その意味で本書は現在求めうる超音波医学の世界最高水準を示すものと考えて間違いない。

近年、医学書院は英文版の出版に力を入れておられるように見受けられるが、いかに良書であっても日本語版である限りは当然欧米のニーズには応えかねるわけで、英文版出版には今後共努力していただき、わが

国の医学の国際化に貢献していただきたいと願っている。

本書はわが国とオーストラリアおよび米英の超音波医学の協力が実った英文版であり、上記以外にもいろいろな意味でわが国および世界の超音波医学界に与えるインパクトは量り知れないほど大きいと考えられる。改めて編集者、分担執筆者、および医学書院の努力と慧眼に敬意と賛辞を送りたい。

内容は基礎については組織と超音波 (S. A. Goss), 装置 (D. A. Carpenter), 組織特性 (D. Nicholas), シグナル処理 (福田守道), 腫瘍診

断については眼窩 (太根節直), 甲状腺 (和賀井敏夫), 乳腺 (J. Croll), 原発性肝癌 (跡見裕・他), 転移性肝癌 (D. O. Cosgrove), 胆嚢 (竹原靖明), 膵 (G. E. Leopold, 北村次男), 胃 (P. S. Warren・他), 内視鏡的検査 (福田守道), 脾 (古賀孝), 腎・副腎・膀胱 (K. J. W. Taylor), 前立腺 (渡辺 決), 睾丸 (J. Jellins・他), 女性性器 (竹内久彌), 手術中膵 (R. J. Lane), 将来展望については腫瘍診断 (G. Kossoff) となっており, その内容の豊かさは, まさに綺羅星のごときと言って決して過言ではない。各国の分担執筆者からも容易に想像できるが, 見事に読者の期待に込めている。

本書は超音波医学を志す医師, 研究者, および技術者にとってはバイブルとも言えるものであり, 世界の超音波医学界にとっても1つのマイルストーンと言えるものとなろう。

B 5 判変型 316 頁 図 17 写真 461
表 30 1984 年 ¥ 13,000 円 400

医学書院 刊